

# 令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

スポーツ推進課

## 1 施設の概要等

施設名	広島県立総合体育館		
所在地	広島市中区基町4番1号		
設置目的	体育その他一般の利用に供する		
施設・設備	大アリーナ、小アリーナ、武道場、弓道場、健康・体力サポートセンター、フィットネスプラザ、会議室、スポーツ情報センター、駐車場 等		
指定管理者	5期目	R6.4.1～R11.3.31	(公財) 広島県教育事業団
	4期目	H31.4.1～R6.3.31	(公財) 広島県教育事業団
	3期目	H26.4.1～H31.3.31	(公財) 広島県教育事業団
	2期目	H21.4.1～H26.3.31	(公財) 広島県教育事業団 (H25.4.1～公財)
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	(財) 広島県教育事業団

## 2 施設利用状況

利用状況(※)	年度	目標値 [事業計画]	稼働率 (大アリーナ)	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	5期	R7	96.6%	100.0%	0.0ポイント	3.4ポイント
	R6	96.6%	100.0%	—	3.4ポイント	(103.5%)
利用状況(※)	年度	目標値 [事業計画]	利用者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	4期平均 R1～R5	2,000,000人	930,025人	△1,025,566人	△1,069,975人	(46.5%)
	3期平均 H26～H30	2,230,000人	1,955,591人	△64,727人	△274,409人	(87.7%)
	2期平均 H21～H25	1,940,000人	2,020,318人	380,802人	80,318人	(104.1%)
	1期平均 H18～H20	1,993,000人	1,639,516人	197,786人	△353,484人	(82.3%)
	H17 (導入前)	—	1,441,730人	—	—	—
	増減理由	大アリーナの稼働率は、大会等を含むスポーツや大規模イベント、自主事業の実施により、高水準を維持している。				

※令和6年度に目標値を利用者数から稼働率に見直した。

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	<b>【実施方法】</b>	<b>【対象・人数】</b>
	自主事業開催時のアンケートの実施	行事参加者 2,865人
	利用者アンケートの実施	施設利用者 147人
	競技団体・マスコミ等と意見交換(運営協議会)	利用団体代表者 10人
	<b>【主な意見】</b>	<b>【その対応状況】</b>
イベント情報等の広報手段や施設の設備などについての要望があった。スタッフのサービスに対する満足度は概ね高かった。	利用者サービス向上のため、引き続き健康維持・増進を目的とした事業内容や、広報手段の充実を行う。また、利用者の意見も踏まえ、必要な施設の修繕を行うとともに、スタッフの研修等を定期的に行う。	

## 4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務報告書
	日報 (必要随時)	○ 従事職員の異動等
管理運営会議 (12回・現地)	<b>【特記事項等】</b> 利用者の意見を取り入れた整備、改善。	
現地調査 (毎月実施)	<b>【指定管理者の意見】</b> 施設設備の状況を把握し、修繕の優先度を提案。	
	<b>【県の対応】</b> 施設設備の計画的な修繕の実施。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

年度	金額		対前年度増減	年度	金額		対前年度増減	
	5期	R7	243,344		△466	5期	R7	497,141
		R6	243,810	△14,775		R6	479,794	134,418
4期平均 R1～R5	258,585		123,724	4期平均 R1～R5	345,376		△123,527	
3期平均 H26～H30	134,861		15,085	3期平均 H26～H30	468,903		22,661	
2期平均 H21～H25	119,776		△27,350	2期平均 H21～H25	446,242		12,065	
1期平均 H18～H20	147,126		△265,212	1期平均 H18～H20	434,177		45,205	
H17 (導入前)	412,338		—	H17 (導入前)	388,972		—	

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目	R7 決算額	R6 決算額	前年度差	○主な増減理由等	
委託事業	収入				
	県委託料	243,344	243,810	△466	
	料金収入	497,141	479,794	17,347	利用料金制(※1) 大規模イベント等の開催による料金収入の増
	その他収入	84,395	66,016	18,379	施設改修工事に伴う営業補償の増
	計(A)	824,880	789,620	35,260	
	支出				
	人件費	71,790	70,985	805	
	光熱水費	172,265	184,414	△12,149	大アリーナ照明LED化による減
	設備等保守点検費	124,340	123,248	1,092	保守点検費の増
	清掃・警備費等	272,537	272,867	△330	
施設維持修繕費	35,288	17,606	17,682	修繕費の増	
事務局費	32,996	32,513	483		
その他	41,183	37,199	3,984	消費税の増	
計(B)	750,399	738,832	11,567		
収支①(A-B)	74,481	50,788	23,693		
自主事業(※2)	収入(C)	40,733	40,302	431	スポーツ教室等実施による増
	支出(D)	43,538	41,767	1,771	
	収支②(C-D)	△2,805	△1,465	△1,340	
合計収支(①+②)	71,676	49,323	22,353		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	広島県立総合体育館設置及び管理条例・管理運営規則・仕様書を遵守し、適切に業務を実施するとともに、小アリーナ・プールLED照明設備改修工事等の実施に伴い、適切な対応を行った。 自主事業では、ほぼ計画通りの内容で安全に実施した。	施設の設置目的に沿った管理運営及び利用促進が行われている。また、自主事業として集客力のあるイベント開催をするなど、県民にスポーツに親しむ企画を提供し、利用率の向上に努めている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	武道場に授乳室を2室設置、また、本館地下1階多目的トイレにオストメイトを設置し、利用者の利便性向上を図った。 本館1階ホールにおいて、Wi-Fi 機器を増設し、Wi-Fi 環境の充実を図った。 売店スペースを活用し、「食品自販機コーナー」を設置し、販売を開始した。	授乳室やオストメイト設置、売店スペースの活用など、利用者の利便性向上に努めている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	新たな自主事業として「グリーンアリーナバックヤードツアー」を実施し、利用促進に努めた。	新たな取組を実施しているなど、利用促進に努めている。
	○施設の維持管理	維持管理については、毎月の修繕報告を行うとともに、小規模修繕工事については、引き続き、緊急性が高いものから随時行うよう努めた。 緊急性の高いフィットネス男子更衣室内トイレ小便器の故障については、迅速に修繕工事を行った。	施設全体の劣化箇所を把握し、緊急性度合いにより優先度をつけ、計画的に修繕を実施している。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	館長または館長補佐が交代勤務で駐在し、運営経験に即した適材適所の人材配置をし、協力企業も含めた全職員が危機事案等に迅速に対応できる体制を維持する管理運営を行った。	職員の配置、緊急時の連絡体制整備は、仕様書及び事業説明書に沿ってなされており、適切な対応をしている。
	○効率的な業務運営  ○収支の適正	省エネルギー推進委員会を年6回開催し、そのうちの2回は省エネパトロールを行うなど、エネルギー使用の合理化に努めた。 定期的に防災訓練を実施し、スタッフの能力向上に努めた。 また、修繕委員会を年2回開催し、施設・設備等の計画的な修繕業務を実施した。  収入については、大規模イベント等の開催により、順調に推移した。 支出については、電気料金・ガス料金が昨年来高止まり傾向にあるが、引き続き、状況を注視する。	効率的な営業運営を行っている。  燃料価格高騰及び物価等高騰の影響下においても、収支の適正化に努めている。
総括		授乳室やオストメイトの設置、売店スペースの活用やWi-Fi 環境の充実など、利用者のサービス向上に取り組んだ。 稼働率の目標達成に向けて、引き続き施設の利用促進に努める。	施設の維持管理は適切に行われている。また、利用者の利便性向上を図るとともに、自主事業等にも積極的に取り組み、利用促進に努めている。 目標達成に向けて、引き続き利用促進に向けた取組が必要である。

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和8年度)	<p>目標達成に向けて、引き続き、自主事業を積極的に実施するなど、施設の利用促進に努めるとともに、今年度からホームアリーナとなる広島ドラゴンフライズの応援事業を充実させる。</p> <p>また、新たな運用方針に基づく利用調整を行い、大アリーナ（広島グリーンアリーナ）の更なる有効利用に努める。</p>	<p>利用者が安全・安心にスポーツ等を実施できる環境を整えることにより、引き続き稼働率の維持に努める。</p>
中期的な対応	<p>老朽化に伴う施設・設備の修繕を適切に行うとともに、「信頼」、「快適」、「にぎわいの創出」、「健康・体力づくり」を基本方針とした管理運営体制を目指す。</p>	<p>施設の保全並びに機能維持と利用者の安全確保に加え、利用状況や利用者のニーズ等を踏まえ、指定管理者と連携し、利用者が安全・安心にスポーツ等を実施できる環境づくりに取り組む。</p>